



2026年度 第5号 令和8年9月18日
松江市立大庭小学校 校長 吉田 卓矢

※学校ホームページは
こちらからどうぞ→



大庭笑楽幸の2学期がスタートしました！

大庭小学校にこども達の元気な声と素敵な笑顔が戻ってきました。45日間（土日祝日含む）長い夏休みでしたが、どのように過ごされましたでしょうか。公民館での納涼祭や寺子屋、児童クラブでの活動など夏季休業中でも地域の皆様の温かい心に支えられながら、有意義に活動している姿を断片的ではありますが、垣間見ることもできました。

少し間が空きましたが、元気なこども達に向けて2学期の始業式で、次のような話を伝えました。

長い夏休みを終えて、今どんな気持ちでいるでしょうか？もう少し休みがあった方が良かった？それとも早く友達に会いたくて、待ち遠しく思っていたかもしれません？それでも長い夏休みだったので、夏休みにしかできないような経験と思い出がたくさんできたのではないのでしょうか。

（中略）

さて、みなさんこの2学期、どんな学期にしていきたいと思っていますか？2学期は3つある学期の中で一番長い学期です。そして、季節は「夏」から「秋」、「冬」へと移っていきます。

運動会や学習発表会など、1年の中でも中心となる行事が予定されています。校外に出て学習する、社会科見学や遠足もあります。自分の力を伸ばしていく絶好の機会です。このチャンスを自分でつかみ取ってください。そのために、2つお願いをしておきたいと思います。

1つ目は、目標を持って行事に参加してほしいということです。目標を持たずに、ただ参加しているだけではもったいない。ぜひ、「これをしよう」「これを身につけよう」という目標を持って取り組んでほしいと思います。

2つめは「友達を大切にしてほしい」ということです。「友達の力が伸びるように」「友達のやる気が出るように」励まし、協力して共に成長していったほしいと思います。

誰もが、友達を大切にできれば、自分も友達から大切にしてもらえます。みんなの笑顔があふれ、楽しく、幸せを感じられるように、この2学期大きく成長してってくれることを願っています。

2学期の始業式も暑さ対策のため、リモートで行いました。対面でないで、表情や雰囲気を感じながら話をすることはできませんでしたが、こども達は元気に校歌を歌っている声が廊下まで聞こえてきました。よいスタートが切れたことを感じさせる始業式の1日でした。

親子で環境美化活動!!お世話になりました

9月5日（土）に環境美化活動を行いました。当日は多くの児童、保護者、地域の皆様に来ていただき、校庭の草抜き、水たまりができていいる箇所への土入れ、トイレ掃除をしていただきました。草抜きは運動会へ向けての準備、土入れは少しの雨ですぐに水たまりができてしまうことへ対処するため、トイレ掃除は学校評価等でも「においが臭い」とご意見をいただいているところでした。教育環境として課題のある部分であったと感じていましたので、今回の美化活動の場所として決定しました。スタートした時は、途方もない作業だと思いましたが、皆様の協力により3つとも見違えるほどきれいになりました。この後は、こども達が最後の仕上げの草抜きをして、体育会当日を迎えたいと思います。



体育会へ向けて着々と準備が進んでいます!!

今年のスローガンは、「ENJOY 大庭っ子 ～強い絆で勝利をつかめ～」に決まりました。実行委員会を中心に運動会の運営、色の団長を中心に応援披露の練習、各学年は種目練習を積み重ねています。

運動会は、日本独特の文化です。海外にも、当日のみ参加するレクリエーション的なイベントはあるかもしれませんが、しかし、単なるスポーツイベントを超えて、「一つの目標に向かって全員で準備し、規律や連帯感を学ぶ学校行事」にまで昇華されている点において、日本の運動会は独特の文化であると言えます。

大庭小学校の体育会もちろん全校児童で取り組みます。実行委員会が中心になって考えてくれたスローガンには「ENJOY」・・・全力で盛り上げ楽しい会にすること、「強い絆」・・・協力し気持ちを一つにすること、「勝利」・・・各学年、色ごとに練習をしっかりとすることなどの思いを込めているそうです。5年生は、体育会のポスターを作ってくれました。4年生は、スローガンがみんなによく分かるように掲示用文字を作ってくれました。体育会は、こども達が真剣に考え、思いを込めているのです。真剣に取り組んでいる場面を見ていると自然と応援したくなってしまう。当日は、そんなこども達の真剣な姿勢、一生懸命な姿を保護者の皆様と一緒に応援していきたいと思います。ご声援よろしくお願いいたします。



ポジティブ行動支援(PBS)に取り組んでいます。

年度初めPTA総会の際にも説明していますが、本校の取組の柱の一つであるポジティブ行動支援(PBS:Positive Behavior Support)について、紹介します。ポジティブ行動支援とは、こども達の「こんな姿になりたい」また、保護者のみなさんの「こどもにこんな姿になってほしい」を実現するための枠組のことです。決められたプログラムの実践ではなく、望ましい姿を増やしていけば相対的に問題行動は減少するというアプローチであり、まさにフレームといえます。

学校で実践する際は、授業中に集中する、友達と協力する、すてきなあいさつをする、親切にする、思いやりのある行動をする・・・などの望ましいと考えられる行動を増やしていくにはどうすればよいかを考えていきます。学校生活の様々な場面で「ここではこんなふるまいをしてほしいな」とか「こういう行動をしてほしいな」と思い描き、そのきっかけとなる働きかけを行います。例えば何気ない声かけでもいいのです。興味を持って話を聴くことも有効かもしれません。その他にも、励まし、勇気づけ、ヒントカード、花丸、ご褒美シール、友達のよかったところみつけ・・・アイディア次第で無数に考えられます。ついつい問題行動や悪いところばかりに目が行きがちですが、ポジティブな行動を増やすためのポジティブな働きかけをしていこうという挑戦なのです。問題行動に対していっさい注意しないということではありません。普段の生活の中には、こども達のすばらしさや望ましい行動があふれているのですから、そこに目を向けて増やす取組です。

この取組の要は、望ましい行動と望ましくない行動は決して同時にはできないという考え方にあります。廊下を歩く走るは同時にできません。友達にやさしくすることと意地悪することも同時にできません。勉強中集中して学習することと友達と関係のない話をする 것도同時にできません。家庭でも、宿題をすることとゲームをすることは同時にできません。良いことだと思っても、実践するのは難しいこともあります。日々挑戦し、工夫をしながら取組を続けています。

おしらせ

10月14日(水)【10:30開演】に大庭小学校体育館にて、広島交響楽団(オーケストラ)公演が開催されます。こども達にとっては、「本物」に触れることができる貴重な体験です。せっかくの機会ですので、この公演を保護者の皆様にも鑑賞していただけるようにしました。希望される方は、右のQRコードをからも申し込みできます。⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒
なお、席には限りがございます。先着順とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。

